

石川中央医療圏地域医療構想調整会議の意見・質問について

1. 地域で不足する外来医療機能を担わない医療機関について、合意しない理由が「合理的な理由」に当たるか協議をおこなったところ、下記のとおり意見があった。

意見	回答者	回答
美容等に特化していたとしても、予防接種などには協力いただけるのではないが。	県	下記のとおり対応します。 1.対象となる医療機関に対して、不足するその他の外来医療機能「予防接種」を担うことを促し、合意の有無を改めて確認する。 2.合意しない場合、次回の地域医療構想調整会議において、改めて合意しない「合理的な理由」の説明を求める。

2. 金沢古府記念病院(旧 藤井病院)の開設者を変更し、竜山会が引き継ぐこととなったことから、その旨、報告をおこなったところ、下記のとおり質問があった。

質問	回答者	回答
現在の竜山会の理事長の氏名を教えてください。	竜山会	黒木奈月です。
竜山会の理事長が所属される母体の会社があれば、その会社名を教えてください。		理事長は医師として診療に従事しており、特定の営利法人に所属している事実はございません。 理事長の弟である太田祐樹が取締役を務めるメディカルサービス法人(ヘルスケアアクセラレーター株式会社)が石野病院の運営支援をしております。同社は、医療コンサルティング業務も行っており、複数の病院において、経営改善の実績を上げております。
藤井博之先生、藤井衛之先生は竜山会の理事に就任されていますか。		藤井博之、藤井衛之は竜山会の理事に就任しておらず、今後も就任の予定はありません。
石野洋先生は竜山会の理事に就任されていますか。		石野病院の院長である石野洋は竜山会の理事に就任しております。
竜山会は、今後、石野病院と金沢古府記念病院の2病院を経営されます。2つの病院をどのように連携されて経営していくのか、経営の方針等があれば教えてください。		病院機能はこれまで通りの機能を予定しております。 お互いに各々の専門性があり、かつ所在する地域も異なりますので、各々の病院がそれぞれの地域医療機関・介護施設等と連携しながら、地域に貢献できるよう取り組んで参ります。なお、各病院は今後、独立採算の中で運営して参ります。 当法人といたしましては、これからも地域医療のニーズにお応えできるよう、必死に取り組んで参ります。
石野洋先生は病院協会の委員であることから、委員の責として、上記の内容について、コメントをお願いしたい。		現在71歳であり、医療法人社団竜山会は今後も地域医療を担うために法人格を残す必要があると考え、後継者を見つけ、法人運営してもらっています。 私自身は引き続き、石野病院の院長として、竜山会の理事として地域医療を担うために診療に従事しているところでございます。 本件についても地域医療を守るためにも、竜山会として何か支援できないかと、理事長に相談し、竜山会として支援することに致しました。
病院機能については必要と思われる。		—